

9

広島少年合唱隊

'68

第9回 定期演奏会

# 広島少年合唱隊

と き 昭和43年11月3日<文化の日>午後1時  
ところ 広島市公会堂  
主催 広島少年合唱教室後援会

後 援 広島市教育委員会  
広島市小学校音楽教育研究会  
中国新聞社  
NHK広島中央放送局  
中国放送  
広島テレビ





(第8回定期演奏会スナップ)

## ごあいさつ

皆さま、本日はようこそおいでくださいました。  
広島少年合唱隊の定期演奏会も回を重ねて、今回はすでに第9回を数えるにいたりました。

子どもたちの清らかな歌声を伸ばし、音楽を通じてよい仲間づくりをし、真に平和を愛好する人間にまで育てたい。そして、平和都市ひろしまの町づくりのお役に立ちたいとの念願一途に歩んできた9年間です。

現在では、市民の皆さんにも愛され、市の公式の行事でもなくてはならない存在にまで成長してまいりました。当合唱隊が今日あるのも、ひとえに関係ご当局、各学校等の暖かいご理解ご支援と、市民の皆さんのご後援のたまものと深く感謝しております。

隊員は現在約200名、予科・本科A・B・Cの4クラスに分れていますが、熱心な先生がたのご指導のもとに、暑い日も寒い日も、よくその練習に耐えてきました。

今回は、古い歌・楽しい歌・静かな歌・日本の歌・外国の歌など幅広いレパートリーをご紹介するほか、本合唱隊の特色ともいえる創作オペレッタ「えんこうばし」も上演し、皆さんに楽しんでいただきたいと存じます。

このようなささやかな努力が、少しでも郷土の文化開発のいしづえとなれば幸いです。

どうぞごゆっくりご鑑賞のうえ、きたんのないご批評・ご指導をお願い申します。

清純・希望・平和を目標としている合唱隊。広島でただ一つの少年合唱隊が、より正しく、より大きく育つために、そして次の世代をになう子どもたちの将来のために、大きく力強い拍手をおよせくださることを祈念してやみません。

広島少年合唱教室後援会長 大石 行 円

## お祝いのことば



広島市長  
山田 節 男

国と民族の相違を問わず、万人の胸に感動をよびおこす音楽は「ことばを越えた世界語」だといわれておりますように、音楽の普及がわたくしたちの人間性を高め、わたくしたちを親和世界にみちびき入れる力には大きなものがあります。

国際平和都市ヒロシマにふさわしい有力な音楽団体が成長し、その活動が活発に展開されることは、早くから望まれていたところではありますが、そうした中であって、広島少年合唱隊が、多年丹精のもとに実力をやしなひ、実績を積み、ここに文化の日を期して、第9回定期演奏会を催されることは、よろこびにたえません。

社会はつねに若さにあふれていなければなりません、当市の純真かれんな少年諸君によって公開される歌声は、広島若き精神を代表し、これを訴えつづけ、多大の共鳴をよぶにちがいありません。

こころから本演奏会の成功を祈ります。



広島市教育長  
斉藤 岳 夫

芸術の秋を色どるにふさわしく、広島少年合唱隊の第9回の定期演奏会が、意義深い文化の日に開かれることを心からお祝い申します。

広島に、かわいい少年ばかりの合唱隊が誕生したのは、ついこの間のこのように思っておりましたのに、もう9才を迎えられると聞き、そのりっばな成長ぶりにおどろいております。

毎年のように、原爆の日、市民体育祭など数多くの広島市の行事には、必ずといってよいほど、みなさんの美しい、清らかな歌声が聞こえてきます。今では、「広島少年合唱隊」は、広島になくはならない存在となっています。このように、市民に親しまれ、愛される合唱隊になったことは、なんといっても、みなさんのたゆまぬ努力のたまものと思います。しかし、そのかげに、みなさんを心から愛し、情熱を傾けて導いてくださる先生がた、さらには、深いご理解とご援助を惜しまないご父兄のかたがたのお力添えのあることを忘れるわけにはいきません。

みなさんの合唱隊は、もはや、広島市だけのものではなく、その名は、全国的に知られるようになりました。まさに、日本の「広島少年合唱隊」であります。大きな希望と自覚とをもって、胸を張って前進を続けてください。

きょうも、みなさんの明るい歌声は、聞いている人々の心まで、明るく、清らかにしてくれることと思います。

ご成功を祈ります。

皆様の電化センター



広島市紙屋町バスセンター前  
電話(代表)47-9111番

顧問 エリザベト音楽大学教授 太田 司 朗

このたび、広島少年合唱隊が第9回の定期演奏会を開催されることは、心からおよろこびにたえません。

今夏は、昨年に引き続いて三瓶の高原で3日間、隊員といっしょに生活することができました。指導者の熱心と後援会の愛情あふれる奉仕、それに児童の規律正しい行動によって、予想以上の成果をあげているのを目のあたりに見ました。昨年は共鳴と息のささえとが発声の基本であり、しかも最後まで、そのたいせつな方法を指導しました。ことしはさらに、その上に立った美しい音楽の表現の方法などを注意しました。そのさい感じたことは、児童の反応がいたって早いことでした。またたく間に、こちらの思うとおりになりました。これは、質のよい児童が集まり、平素の訓練が非常に良いということを示証するものです。

来年は、第10回の発表会になります。今回の演奏会を足がかりにして、いっそうりっぱな演奏を開かせてくださることを願っています。



顧問 広島県教育委員会指導主事 高橋 敏 唯

広島少年合唱隊の皆さん、第9回定期演奏会おめでとうございます。意義深い、文化のよき日に開催されることを、心からおよろこび申し上げます。

「美しく、より美しく、限りなき前進」ということを合いことばに精進を続けられ、特に、ことしは練習日を週2回として、内容・質において一段と充実をはかり、6月には招待演奏会を開かれるなど、着実に練習を重ねてこられました。

このようにしてみかがれた、みなさんの美しい演奏は、会場にどう人々の心に、必ず深い感銘をあたえるものと信じています。

合唱というものは、ひとりひとりが自分を最高に生かし、それが全体としてほんとうにうまく調和することで、すばらしい演奏になるのだと思います。ひとりで歌うことは楽しいことですが、たくさんの人が指揮者のもとに心を合わせて演奏することは、もっと楽しいことです。

みなさんの豊かな表現力で元気いっぱいに歌ってください。この演奏会のご成功といっそうのご発展をお祈りします。

児童を交通事故から守りましょう <通学傷害補償保険>付き

学生らしい装いをしよう!

東レ **テロン**

**トンボ通学服スクール®**

トンボ学生服

日本PTA全国協議会推薦

第9回演奏会おめでとうございます。

去年三瓶高原に行って、元気のいい練習ぶりを見たのも、第8回のりっぱな演奏会を開いたのも、まだちょっと前のことで、とても一年もたったとは思えません。

月日のたつのは早いものだといつも聞き、また言ったりしますが、ことしはことさらにその早さに驚いているのです。

しかし、早い早いと言っても一年はやっぱり365日あったので、皆さんはその間、いっしょうけんめい勉強して、その練習の一回一回のまじめな努力が重なって今日になったと思います。

その隊員の皆さんの努力は大したものですが、指導してくださる先生がたのご苦勞にはほんとうに頭がさがります。それとともに、ご父兄のかたがたのご協力、そして今日ご来場くださっている皆さんのうしろだて、それらの全部が集まっての盛会なのだと思います。

ますますがんばってください。

心からお祝い申し上げます。



■凸版  
■平版  
■写真版  
■製本

鯉城精版印刷社

代表 津川正美  
広島市外祇園町長東930  
電話 39-0930

菊かおる文化のよき日に、未来の発展を日ざして歓喜の歌声をあげられます広島少年合唱隊のみなさん、まことにおめでとうございます。

\*美しく、より美しく、限りなき前進。を合いことばとして、たゆみない努力をつまえた日ごろの練磨の成果を、大いに期待するものであります。

わが国の合唱運動も、年々日ざましい発展を遂げ、数多くの合唱団が、種々の活躍をつづけております。その中でも特に少年の歌声のひびきは、美しい「天使の声」としてたたえられ、だれしもこの理想を求めらるるものではありますが、なかなかむずかしいものでもあります。

少年のみで、しかも大編成で、その理想に向かって前進をつづける広島少年合唱隊は、大いに誇りとするものでありましょう。

……広島少年合唱隊…… 栄光あれ！

ヨーロッパの風味 手焼の味



広島・東白島15-6  
TEL. 28-2468(代)

## 第9回 定期演奏会にあたって

広島少年合唱隊長 樋口正司

本日はよくおいでくださいました。  
日ごろから、暖かいご支援をいただいている多くのかたがたの前で、第9回の定期演奏会を開くことのできるの、わたくしどもにとって、この上もない光栄であり、よろこびにたえないところでございます。

音楽は心の泉、わけても少年の歌声の清らかさ、美しさはまた格別といえましょう。

わたくしどもは、この深い味わいを求めて、ひたすらにあゆみつけまわりました。しかし、限られた条件の中での練習ですから、決して意のままに進まず、厚い大きなカベに出くわして途方にくれる日もいくたびかありました。

そんなとき、何よりも勇気づけてくれたのは、ほかならぬ隊員自身でした。その清純なひとみ、明るく、たくましい意欲、そして、限りない可能性……そんな子どもたちの姿にひかれて、たどりついた9年間の歴史のように思われます。

今回のプログラムは、各学年の発達段階に応じて、その特長をいかすことに心がけ、楽しいもの、美しいもの、古いもの、新しいものなど、全体のバラエティーも考えたつもりです。

また、本隊の特長のひとつ、郷土の民話を劇化した創作オペレッタも一曲上演します。

これらのことを通じて、子どもたちに夢と希望を与え、ひいては、平和ひろしまの町づくりのお役に立てばまことに幸いです。

最後まで、ごゆっくりお聞きくださって、ご遠慮のないご批評をおよせくださることを、心からお願い申し上げます。

広島少年合唱隊本科B組 岡崎吉範

みなさま、本日はおいそがしい中を第9回定期演奏会においでくださりまして、ほんとうにありがとうございます。

広島少年合唱隊ができて9年になりますが、今まで週1度のレッスンは、昨年の演奏会以後は週2回のレッスンとなりました。ぼくはこれといそがしくなるのと同時に、レッスンは2回になったので、少し心配になりました。でも、筆算から何事も中途はんばでやめる人は何をしても成功しない。最後までがんばりとおせるような人になりなさいと聞いておりましたので「ここでくじけてはいけません。」と思い、足を引きずり引きずりレッスンに行ったこともあります。

でも、教室にはいるとふしぎに気持ちが落ちつき、「ぼくたちより先生のほうが何倍もたいへんだなあ」と思い、いっしょうけんめいになります。いつかこんなことがありました。ぼくがC組のときです。いちばん前の机にすわってレッスンをしていたときのことです、歌いながら、いつのまにか机の上につぶせになって、ねむっていたのです。その時、先生がぼくのねむっているのに気がついたので、となりの友だちがぼくをさかんにつついておこそうとしたら、先生が「いいからそおとねむらせてあげなさい。つかれているのでしょう。」とおっしゃってくださったそうです。ぼくはそれを聞いてはるかしくて、顔の赤くなるのがわかりました。そしてそのことが忘れられず、練習のきびしいところがあっても、また「やさしい先生だなあ。」と思いました。そして次のレッスン日には、はりきって行きました。

毎年夏休みには、3泊4日で三瓶山に行きます。朝の新鮮な空気の中でレッスンにかかります。もうこれが最後の合宿練習だと思うと、昨年までの三瓶合宿とはちがって、ここでできることはなんでもしておこうと、ついよばりになりました。でも、帰るときは少しさみしく感じました。きょうの演奏会も三瓶山でのきびしい合宿練習、そして日々先生がたとぼくたちがこの一年、今日のためにいっしょうけんめい練習してきました。たくさんのお歌を聞いていただきます。どうか最後まで聞いてください。そしておかしいところがありましたら、今後の合唱隊のためにも、どんどんご指導ください。

ステレオ専門メーカー  
パイオニア

カーステレオ \* カーアクセサリ

グランプリ

広島市光町16の7 電話61-7635

テレビ修理と皆様の電化の店

マコト電気サービス

広島市西白島バス停前 TEL. 21-9884

プログラム

1. 宗教音楽

- 聖母哀傷
- 父が子をあわれむごと
- アヴェマリア

津川 圭一 訳詞  
ベルゴレージ 作曲  
津川 圭一 訳詞  
ケルビーニ 作曲  
グノー 作曲

本科 A・B組 選抜

指揮 新宅吉文  
伴奏 福井幸子

2. 子どものうた

- 夕 日
- 茶 つ み
- らばの会の作品から  
おほりの白鳥
- バスの歌
- ちいさい秋みつけた

葛原 しげる 作詞  
室崎 琴月 作曲  
文部省 唱歌

予 科

指揮 渡辺富美  
伴奏 山本富美子

清水 たみ子 作詞  
中田喜直 作曲  
さとう よしみ 作詞  
犬中 恩 作曲  
サトウ・ハチロー 作詞  
中田喜直 作曲

3. 七つのフランスの  
子どものうたより

- つ き よ
- げんきな こども
- ねえ ねえ、おじさん
- ひつじかいの むすめ
- パパ おふねも
- かあさん おねがいよ

深尾 須磨子 作詞  
中田喜直 編曲

本科 B組

指揮 應下昭一  
伴奏 池上昭子

4. NHKみんなのうたより

- 霜 の <sup>あした</sup>朝
- 秋
- こ い め
- 星 の 世界
- 山こそわが家

旗野 十一郎 作曲  
チェコ 民謡  
夏目 利江 作曲  
ドイツ 民謡  
永柴 良暁 編曲  
松本 栄司 作詞  
石川 恵介 作曲  
岩藤 満 編曲  
杉谷 代水 作詞  
コンパー ス 作曲  
永柴 良暁 編曲  
作詞者 不明  
ドイツ 民謡  
小林 秀雄 編曲

本科 C組

指揮 岩藤満子  
伴奏 服部典子



5. コンクールの曲より

◦とうげ路

林 柳 波 作詞  
佐 治 恒 夫 旋律  
平 井 康 三 郎 補修編曲

本 科 A 組

指揮 森 川 明 水  
伴奏 多 田 良 子

◦秋 の 歌

大 木 惇 夫 作詞  
山 田 耕 箆 作曲

◦仲よし門舞曲

深 尾 須 磨 子 作詞  
高 田 信 一 作曲

◦風 の 色

浅 見 芳 枝 作詞  
川 崎 洋 悦 作曲

<休 憩>

6. オベレッタ

「えんこうばし」

榎 野 謙 台詞  
永 柴 良 暁 作曲

本 科 A・B 組

指揮・演出  
清 水 源 康  
伴奏 山 本 富美子  
舞台 広島舞台美術  
照明 篠 本 秀 吉

7. シューベルトの作品より

◦野 ば ら

近 藤 朝 風 訳詞  
シューベルト 作曲  
磯 部 徹 編曲

◦子 も り 歌

内 藤 濯 訳詞  
シューベルト 作曲  
平 井 康三郎 編曲

◦ま す

緒 園 涼 子 訳詞  
シューベルト 作曲  
入 野 義 朗 編曲

本 科 A・B 組選抜

指揮 新 宅 吉 文  
伴奏 福 井 幸 子

8. レパートリーから

◦組曲「ひろしま」から  
・清 純  
・平 和  
◦さあ太陽をよんでこい

広島少年合唱隊制作

予・A・B・C 合同

作詞 石 原 慎太郎  
作曲 山 本 直 純

指揮 樋 口 正 司  
伴奏 福 井 幸 子